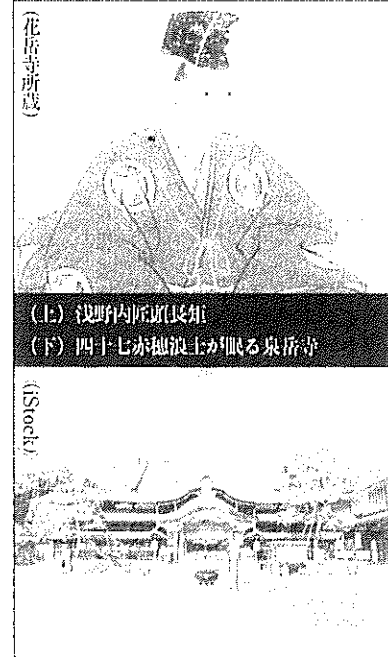


將軍の世紀

やまうち まさゆき
山内昌之
武蔵野大学特任教授・
東京大学名誉教授

【第十三回】綱吉と忠臣蔵 歴史の不条理

元禄十五年、赤穂事件が発生した。犯罪か、義挙か。幕府の議論は紛糾する。その時、綱吉が下した判断とは。



一、大食漢と正義漢

話は三代將軍・家光の東照宮造営にさかのぼる。惣奉行・秋元泰朝の下奉行に庄田小左衛門安照という大食漢がいた。日光にいた一応なる出家も大食で知られていた。そこで一応は庄田にそば切り食べ比べの勝負を挑んだが、二人とも譲らず埒があかない。庄田はそれでは汁かけ飯で決着を付けようと言いつつ出す。すると、さすがの一応も逃げ出してしまった。秋元が台所をのぞくと、庄田は食椀で五十盃も平らげたというではないか。秋元がさらに様子をさぐると、庄田は宿に帰って更に湯漬を食べたというから驚く。庄田の奇癖は家光の上聞にも達した。家光は、柿百個、砂糖十斤（一斤は約六百グラム）をべろりと平らげた健啖ぶりをわざわざ「御上覧遊ばされ候」。しかも途中で家光が「さね(たね)は出してよい」と言葉をかけるまで、さねごと柿を食べて、六キロ分の砂糖を味わったというのだ。家光も酔興なことである。食ぶりも遺伝するのだろうか。孫の小左衛門安利も、元禄七年（一六九四）六月に播磨・山崎藩主の本多忠英に招かれた席で、御食六盃に鰻蒲焼八十切を食べたというから驚くほかない（『元禄世間咄風聞集』一26、27、28）。

これだけだと話は他愛もない。しかし、この時西丸留守居だった安利が後に大目付となり、庄田下總守として浅野内匠頭長矩切腹の検使役になる男であってみれば、果然元禄の政治風景も変わって見えないだろうか。ましてや、副使の目付・多門伝八郎重共は、浅野が五位の五万石城主として切腹するのと、後日慎重に吟味して免官し通称・又市郎として仕置されるのでは扱いが違うと庄田に異を称えた。白砂をまくとはいえ、庄田のように庭先で大名を自決させるのは礼を欠くと言うのだ。庄田と多門の争論は映画やテレビでも脚色されるので御存知の読者も多いはずだ。正義漢めいた多門はしつこい。切腹の翌日登城して老中・秋元但馬守喬知に言上、争いは柳沢吉保にまで聞こえたという。「相済候事に候間、御沙汰に及ばず候段申し渡すべし」。もう済んだことだから改めて問題としない。柳沢の「仰渡」は、若年寄・稲垣対馬守重富から多門に「仰渡」された（『多門伝八郎覚書』、石井紫郎編『近世武家思想』所収）。

前号でも述べたように、柳沢は「奥」の担当として上意を「表」に伝えても、積極的に「表」の決裁に異を差し挟む政治家ではない。しかも多門は、事後に殿中で覚悟を決めて庄田と面談するうちに双方ともに激高し、あわや刃傷になりかかったというのだ。幸い他の大目付や

目付が居合わせたので、「双方相なだめ、無事に其場は引退申候」という次第になった。四月三日に庄田は「御役御免」、自分は「其儘これ有り候」と留任したと書いている。刃傷の第二場もありえたわけだ。

柳沢吉保の『志願実録』や『樂只堂年録』は、この辺りの事情に触れていない。多門の主張すべては信じてた。順当に佐渡や長崎などの遠国奉行や江戸町奉行なども望めた七百石の旗本・多門としては、元禄十六年（一七〇三）十月から宝永元年（一七〇四）六月まで「警火の事」（火の元改）の加役を命じられたとはいえ、八月には「其務に応ぜざる」により無役に貶されたのは不本意であったろう（『寛政重修諸家譜』巻第四百八十五）。柳沢吉保は綱吉の事蹟録で多門について「奉職無状ヲ以テ免ス」と語るのみである（『志願実録』巻二十五、宝永元年八月二日条）。仕事ぶりが良くないというのだ。罷免された多門は、官僚人生で挫折した鬱屈を込めて赤穂事件への共感を過剰に美化したのではないか。他方、庄田も將軍や柳沢の意を過剰に忖度したのを後悔したかもしれない。祖父や父が果たせなかった叙爵も果たし、二千六百石の大目付となるまでは順風満帆であった（『寛政重修諸家譜』巻第五百五十五）。『志願実録』は、吉良の相役たる高家・大友近江守義孝と一緒に事件からまもな

文藝春秋

日韓相克 終わりのなき歴史戦の正体

祝・即位の礼 新天皇・雅子皇后65人の証言 十一月号

大正十二年一月三十一日第三版の価格
今刊元年十一月一日発行(毎月一日発行)
第九十七号第十一号十月十日で迄



あなたの周りの
“見て見ぬフリができない人”を
ご紹介ください。

社会貢献者表彰 推薦募集中

募集締切 2019年10月31日必着

公益財団法人
社会貢献
支援財団

表彰の目的
国内外を問わず、社会と人の幸福のために貢献し、功績を挙げながらも報われることの少なかった方を表彰。その功績に感謝することを通じて、より良い社会づくりに貢献することを目的としています。

推薦となる功績

- 社会と人の幸福に尽くされた功績
- 自然環境や希少動物の保護に尽くされた功績
- 海難・水難などの救助・救援に尽くされた功績
- 犯罪の解決に協力された功績 など

応募方法などの詳細については、ホームページをご覧ください。

www.fesco.or.jp

社会貢献支援財団 検索

お問い合わせ
推薦書類
ご請求先

公益財団法人社会貢献支援財団事業部
105-0003 東京都港区新橋1-18-6 クロスオプス内 401号 (4階) (有田・有田)
TEL: 03-3502-0910 FAX: 03-3502-7190 MAIL: fesco@fesco.or.jp



11307701-11



4910077011198
00873